

オーシャン動物病院 音成 伸悟



### 半導体レーザー治療に関して

① 導入時期：SUMMUS H1 2023年5月

② よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

術後の疼痛緩和や治癒促進、神経疼痛、創傷治療、急性及び慢性膀胱炎、歯肉炎、急性膵炎など

修復系治療は非常に有用で、疼痛についても早期に消退が実感する。オーナーからの要望も多く、獣医師指示のもと、愛玩動物看護師にレーザー処置のサポートをしてもらう、という効率的な面もメリットは高い。

従来のCTSレーザー、PD-15から愛用しているが、有効性は更に向上している事や理論的な波長と熱量が明確な点も信頼性が高いと感じる。

当院では診察室が4部屋、処置エリア、オペ室と6箇所で使用要望があるが、バッテリー駆動となり重量も軽いので、それぞれのエリアに移動も非常に簡便で、オーナーの目前で施術する事で顧客満足度の向上にもつながっている。

③ 使用頻度：

H1に関しては1日10回以上の症例でほぼ毎日使用している。時には3件以上が順番待ちとなり、従来のCTSも併用して治療を行なっている

④ 印象的な症例：

転院症例の橈骨神経麻痺のレトリバーがレーザー処置6回目くらいで歩行が60%程度まで回復した。

⑤ 採算に関して

前述のように、日々の診療の半数以上で適応可能となるため、使用頻度からの売上貢献は非常に高い。ほぼ2年程度でペイできると思われる（実際に、CTSがそうでした）。効率化や獣医師の負担軽減という意味でも、愛玩動物看護師に任せることができ生産性の向上にも十分に寄与すると考えられる。

⑥ 今後のテーマ

レーザーを主体としたリハビリ施設

⑦ 他のユーザーへのコメント

半導体レーザーは数社から発売されているが、設定面やエネルギー量計算などアバウトな機器も見られるが、H1に関してはその点が明確で医療従事者として安心できる点である。また機器が非常にコンパクトでバッテリー駆動な点も使用率を高めやすくなるポイントとなり、経営的にも顧客満足度的にも非常にメリットは大きいと思います。

# 病院及び Dr 紹介

病院概要 : オーシャン動物病院

静岡県磐田市、2007年11月開業

獣医師 : 音成 伸悟院長、宮崎大学獣医学科卒業

外科用機器 : PD-15、サンダービート、ソニックビート、電気メス